

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	12-051	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
Ethnic drinking cultures and alcohol use among Asian American adults: findings from a national survey. アジア系米国人における民族飲酒文化とアルコール：国民調査からの知見		
執筆者		
Cook WK, Mulia N, Karriker-Jaffe K.		
掲載誌		
Alcohol Alcohol. 2012 May-Jun;47(3):340-8.		
キーワード		
アジア系米国人、民族飲酒文化		
要 旨		
目的： アジア系米国人の飲酒に対する民族の飲酒文化の影響とアジア民族文化コミュニティへの参加の度合い(民族の言語を用いる頻度など)との関連について調査した。		
方法： 対象者は、国民の代表的なサンプルとして 2004 年から 2005 年に調査された「the Wave 2 National Epidemiologic Survey of Alcohol and Related Conditions data」の 952 人のアジア系米国人とした。解析には多重ロジスティック回帰モデルを用い、出生地によって階層化した分析もおこなった。		
結果： 経済的ストレス、基本特性で調整すると、民族の飲酒文化と飲酒量に正の関連を示した。民族の言葉の使用が多いなど民族文化コミュニティへの参加が多いと関連が弱くなるとの仮説は、米国生まれのアジア系米国人で支持された。		
結論： 民族の飲酒文化はアジア系米国人における飲酒に影響しているかもしれない。民族の飲酒文化の影響は、民族文化コミュニティへの参加の度合いによって変わるかもしれない。移民における有害で危険なアルコール使用を減らすための介入のために、飲酒に著しく影響を及ぼすかもしれない移民コミュニティで生じる文化的および社会過程を調査する必要がある。		